

～ 東大阪市内にある試験分析機関を活用しよう！ ～
『試験分析データにより課題を見える化して付加価値向上を目指す』

（公財）東大阪産業創造勤労者支援機構

自社製品の機能や使用材料の特性などについて、試験分析結果を用いて見える化して評価・管理することにより、顧客の信頼を得ながら進める事ができます。また、コミュニケーションを取りづらい遠方の顧客や外注先との仕様や設計の打ち合わせにおいて、共通する規格の試験分析データを用いることで、より信頼性の高い製造に繋げることができます。ここで信頼性のある試験分析を行うためには、一定の経験や知識も必要です。例えば、試験所認定を取得した専門機関を活用すると、規格や法律に基づいた試験分析データが得られ、説明を受けながら経験や知識を積み重ねていくことができます。

東大阪市内には、産業界のニーズに基づいた試験分析機関が多く有り、多種多様な試験分析に取り組むことができます。本セミナーでは、それら機関の得意とする試験分析や得意技術分野を紹介し、さらに試験分析に関係するテーマの技術講演を交え、課題対応のための試験分析機関の活用方法を知っていただくことを目的としています。

記

日時 : 令和 8 年 2 月 26 日（木）

I 部 午後 1 : 00 ～ 2 : 20 東大阪市内の支援機関・試験分析機関の紹介

II 部 午後 2 : 30 ～ 3 : 30 試験分析技術に係る講演

会場 : クリエイターズプラザ 研修室

（東大阪市荒本北 1－4－1 クリエイション・コア東大阪南館 3F）

午後 1 : 00 ～ 2 : 20

I 部 東大阪市内の支援機関・試験分析機関の紹介

① 東大阪市産業創造勤労者支援機構のモノづくりマッチング事業などの相談事業、補助金について

東大阪市産業創造勤労者支援機構 事務局長 奥野 勝巳

② 東大阪市立産業技術支援センターの試験分析機器の活用について

所長 垣辻 篤

③ 一般財団法人 日本文化用品安全試験所が行っている試験分析について

大阪事業所 理事 岡橋 信行

④ 一般財団法人 化学物質評価研究機構が行っている試験分析について

大阪事業所 藤田 潤

⑤ 一般財団法人化学研究評価機構 高分子試験・評価センターが行っている試験分析について

大阪事業所 所長 佐藤 圭祐

午後 2 : 30 ~ 3 : 30

Ⅱ部 試験分析技術に関する講演

題目 1 『ガラス試験の基礎事項』

一般財団法人日本文化用品安全試験所 大阪事業所 理事 岡橋 信行

ガラスは、身の回りの日用品から工業製品まで幅広く使用されているとても身近な材料です。
しかし、材料のことをよく理解して取り扱わないと、トラブルの原因となります。
本講演では、ガラス製品を取り扱う上で必要な規格や試験の一部についてご紹介します。

題目 2 『製造現場での品質管理項目について ～JIS マーク認証監査の視点から～』

一般財団法人 化学物質評価研究機構 大阪事業所 藤田 潤

サプライヤーに対して常に一定の品質を担保する製品を提供することは重要です。
今回は、弊社で実施している JIS マーク認証監査の視点から、資材調達・製造工程・出荷までの製造に関わる品質管理で注意すべき項目について、説明を行います。

題目 3 『サイレントチェンジ対策について』

一般財団法人化学研究評価機構 高分子試験・評価センター 大阪事業所 所長 佐藤圭祐

サイレントチェンジとは、サプライヤーが発注元に無断で仕様の変更等してしまうことで、発生背景には複数の要因があります。サイレントチェンジのリスクを低減するためには未然防止が効果的で、適切な契約や定期的な抜き取り検査などの有効な対策について説明します。

【お申込み・お問合せ】 (公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構

下記の参加申込み欄にご記入の上、メールまたはFAXでお申込みください。

TEL:06-4309-2301 FAX:06-4309-2303 E-mail : seminar@hispa.biz-web.jp

事業所名／所属			
所在地			
役職／名前			
TEL		FAX	
E-mail			

こちらからも
申込みできます



< 参考 : 東大阪市内にある試験分析機関とその概要 >

一般財団法人 日本文化用品安全試験所 (MGSL) ブンカケン

(<http://www.mgsi.or.jp/> 大阪事業所 TEL 072-968-2226)

- ① 製品の安全性試験・検査 : 日常生活用品(家庭用品、家具、家庭用電気製品、文具用品、その他の雑貨など)の安全性を確認するため、性能・強度・耐久性・実用試験を実施。
ガラス製品の評価や破損原因調査については国内唯一の第三者機関。
- ② 技術相談・サポート : 製品の品質や性能の維持・向上及び製品開発や改良での技術的な課題解決を図る際に、公的規格に無い製品に対しても安全性試験の相談や受託が可能。

一般財団法人 化学物質評価研究機構 (CERI) 大阪事業所

(<https://www.ceri.j.or.jp/index.html> 大阪事業所 TEL 06-6744-2022)

- ゴム・プラスチック材料に対して、多岐に渡る物理・化学的手法を行い、機能や安全性を評価する。
- ① 物性評価試験 : 材料の強度、硬さ、耐久性、絶縁性、難燃性、低温特性、ガスバリア性など、種々の物理特性評価や JIS などの材料規格試験に対応。
 - ② 機器分析・化学分析試験 : 製品に含まれるポリマーや配合剤などの成分に対し、種々の分析手法と独自のライブラリーを用いて定性・定量分析。
 - ③ 規制関連物質の評価 : 各種規制関連分析に対応。(RoHS、REACH、揮発性有機化合物(VOC)、消防法危険物判定、食品衛生法等) 分析に対応。
 - ④ 製品の不具合調査 : 不具合要因調査のサポート、技術的相談や試験。

一般財団法人 化学研究評価機構 (JCII) 高分子試験・評価センター

(<https://www.jcii.or.jp/> 大阪事業所 TEL:06-6788-8134)

- ① 高分子材料の化学分析・物理解析 : プラスチック製品の品質向上や品質管理のための化学分析や物理解析に対応し、製品の特性評価や改良をサポート。
- ② プラスチック製品に関する各種試験・検査 : 法規や規格に基づく適合性の確認や製品安全性の評価をサポート。
- ③ 技術相談・サポート : 製品開発や品質管理に関する技術的な相談に対応することで企業の技術力向上を支援。

一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA) 関西試験センター/関西マテリアルテクノ試験所

(<https://www.jqa.jp/access/kansaimap.html> 大阪事業所 TEL 072-966-7200 (代))

- ① 計測器の校正サービス : 各種計測器の校正により使用する計測器の精度と信頼性を確保し、製品の品質管理をサポート。
- ② 試験・検査サービス : 建設材料や金属材料の各種試験・検査を行い製品の安全性や性能を評価
- ③ セミナー・研修の開催 : 計測器管理や校正実務に関するセミナー・研修を開催し、企業の技術者や管理者のスキル向上をサポート。